

平成27年度第3回北海道立図書館協議会会議概要

日 時：平成28年3月15日（火）

会 場：北海道立図書館 会議室

出席者：協議会委員7名、道立図書館職員12名

傍聴者：なし

議事等

1 議題

(1) 平成28年度北海道立図書館運営計画（案）について

2 その他

会議概要（○～委員の発言 ●～道立図書館職員の発言）

1 議題

(1) 平成28年度北海道立図書館運営計画（案）について

伊藤利用サービス部長説明・・・資料1「平成28年度北海道立図書館運営計画（案）」
参照

(1) 市町村支援ーア 市町村立図書館等の活動支援ー（ア）図書館活動支援
ーd 出前講座（文学館連携事業）

- 昨年度の業務実績報告の中で、要望はたくさんあったが3市町村で抑えたと同っております。今回も計画目標値が3市町村程度になっていますが、要望がたくさんある場合、それ以上の数に応えることはできるのでしょうか。
- 出前講座は北海道立文学館の予算で実施しております。文学館の事業のうち3つをいただいております、図書館から働きかけをしておりますが、現在の実施数を引き続き確保するのが現状で、増やすことは難しいところです。

(1) 課題解決型サービスーウ 地域の活性化支援

- 道議会図書室の利便性のPRについて、道議会図書室を拝見した際にすごく良い形で整理されており、ぜひPRをしていただきたいと思います。道職員の新人研修等のコマで道議会図書室の使い方講座等のPRをしてみたいかですか。
- 道職員の行政職員の新人研修については北海道人事委員会が所管しており、すでに年間研修計画を立てているとは思いますが、やってくださいとは言えませんが、提案してみたいと思います。
- 簡単なペーパーを作って配布したり、1分程度でも話をする時間を設けられないか等

働きかけてみたいと思います。

- 道議会議員や道職員や一般の方等の、道議会図書室の利用状況のデータは把握しているのですか。
- 道議会事務局の方で、利用状況は把握しております。

(3) 道民向けサービスア 来館型サービスの充実ー (イ) 講座・展示・書庫ツアー等の充実ーa 講座、c 書庫ツアー

(4) 子どもの読書活動の推進ーエ「読書活動充実事業(読書に親しむ体験事業)」

3 予算の概要

- 創設90周年事業が予定されていますが、記念事業用の予算は確保されているのですか。
- 特に措置はされておらず、既決予算で対応することになりますし、不足する場合は本庁関係課に要望したいと考えております。周年事業は講演や講座を予定しておりますが、高額な講演料を要するような著名人等に依頼するようなことは想定しておらず、北海道立文学館や北海道博物館の職員の方に講演して貰うような、手作りの事業にしたいと考えております。
- 同じく予算の関係で、読書活動充実事業(読書に親しむ体験事業)は、教育委員会主催で図書館が主管ということですが、そのための事業予算は措置されているのですか。
- 本庁で予算要求しており、必要な額を本庁から貰うことになっております。よって、図書館の持ち出しはありません。
- というのも、平成28年度も予算が厳しいようなので、これらの事業は予算措置されるものかと思いました。
- 図書館だけではなく学校等もそうですが、全庁的に経費によって5%や10%のシーリングがかかっているので、「どれだけ予算を増やすか」ではなく、「どれだけ予算を確保・維持するのか」といった状況です。本来ならもっと減らされるところを、なんとかこのあたりで抑えたというのが正直なところです。
- 創設90周年事業を手作り感あふれる事業にしたいということですが、せっかく開架スペースが増えたことですから、蔵書、特に北方資料をアピールしていただきたいと思えます。記念講演会で話だけ聞いて帰る、といった花火のような一発的なものではなく、図書館の良さに触れられるツアー等を組んで、久しぶりに図書館に来たけれど楽しいところかも、と集まった人たちが図書館ユーザーになるきっかけになるような事業にして欲しい。
- 現在、館内で創設90周年事業のプロジェクトチームを立ち上げて、事業の内容を考えているところです。北方資料室からも2名チームに入りまして、北方資料の展示を工夫したり、北方資料を使って執筆している方々がおりますので、そういった方々の協力をいただき、色々PRしようと考えております。

1 運営の重点－（５）北海道人の英知を現在・未来に活かします～北方資料サービス～

- 公的機関が発行した電子媒体資料等の収集に努めるということですが、具体的にはどういうことでしょうか。
- 道の機関において今はPDFでホームページにアップされていることが多いので、それらを収集することを目的としております。
- 平成18年くらいから道の発行物のペーパーレス化が非常に進み、毎年発行される年報や統計が図書館に紙で届かなくなっております。各機関のホームページには直近の数年間には掲載されていますが、ペーパーレス化が始まった初期の頃の発行物は掲載されておらず、利用者から何年の経済の統計がないかと話があっても、紙としても電子媒体としても閲覧できない場合があるので、そういったところから収集したいと考えております。
- 非常に重要な問題だと思います。利用者への閲覧方法については、電子といってもリテラシーの問題がありますので、工夫の必要はあるかもしれませんが、大事な事だと思います。

（３）道民向けサービスーア 来館型サービスの充実ー（エ）ボランティアとの協働

- リニューアルして地域の方の利用が増えて、積極的に図書館の手伝いをしたい方が今後増えることもありますが、図書館ボランティアを積極的に受け入れるとか読み聞かせをすとか、せつかくリニューアルしたのだから地域の方ともっと接点を持つような考えはないのでしょうか。
- もちろんどんどん活動していただければ良いと思います。
まだリニューアルして日は浅いのですが、新たにボランティアを希望する方が1名おりますので、そういった方が増えることは非常にありがたいことだと考えています。
- 他に意見はありませんか。
それでは平成28年度北海道立図書館運営計画については、委員の意見を踏まえ、実施する決定でお願いします。周年事業に期待したいと思います。

（２）その他

ア 平成27年度図書館地区別（北日本）研修について

伊藤総務企画部長説明・・・資料2「平成27年度図書館地区別（北日本）研修について」参照

イ 平成27年度北海道立図書館業務実績報告書について・・・資料なし

閉会挨拶

●副館長

本日は大変お忙しい中御出席いただき、誠にありがとうございました。私は去年の4月に異動して参りまして、今回で3回目の協議会でした。委員の皆様の意見をできるだけ反映させるように引き続き進めて参りますが、特に今年は90周年という節目の時期ですので、予算には限りがあるものの、できるだけお金がかからないように何かできないかと考えて参ります。道立図書館の役割とは何かと考えた場合、図書館のセンターとして、図書館の図書館としての役割が大きいと考えておりますので、引き続き市町村立図書館の活動に色々と支援していきたいと考えておりますので、今後とも御指導、御助言をお願いします。

(資料配付のみ)

- ・北海道立図書館報 No. 200
- ・あけぼの通信 No. 54